桜町・3000人収容の大会議場に350億円! 市民合意もなく「大型ハコモノ」建設を推進

事業費が大幅に増え、過去最大規模の「大型ハコモノ」に!

11月6日に開かれた「大会議場検 計委員会」で、3000人収容の大会議 場の施設整備費が示されました。

500 億円と言われていた桜町再開 発事業の総事業費は、「520億円+従 前資産額(現在ある土地・建物の資産額)」 となり、大幅に増えます。

事業費は、もっと増えることが予想 されます

公表された事業費 289 億円は、資金計 画熟度向上・建築物価上昇で増加ありと説 明されています。

実際に、駅前の森都心プラザは、マンシ ョンも含めた事業が決まった時185億円 と説明された事業費は、最終的に211億 円まで増えました。今回の場合は400億 円近くなることも考えられます。

熊本市が建設する大会議場の整 備費は289億円です。

(整備費の内訳)

建物・土地(保留床取得額)269億円

備品購入費

289 億円

20 億円

合計

これに、再開発への補助金・約50 億円が加わりますので、熊本市の負 担は約350億円となります。



(400 億円もかかりそうな桜町の大会議場の予想図)

「桜町再開発を考える緊急学習会」を 11 月 21 日、午後 6 時〜パレア会議室で開催します。

市議会だより

発行:日本共産党熊本市議団 ますだ牧子 上野みえこ なすまどか NO. 875 2013年11月17号 359-5047

メール: kumamsu@gamma. ocn. ne. jp ホーム: http://www.jcp-kumamoto.com/

過大な利用見通しで、事業を推進

検討委員会では、利用予測も示さ れました。3000人以上規模の学会・ 国際会議・大会等を年間 20 回開く (全国の開催数の1割) とされてい ます。しかし福岡国際会議場でも 3000 人規模以上は、年間8回です。 検討委員会委員からも、「過大な見積 もりではないか」という意見が出ま した。

幸山市長ではありま

<12 月議会日程が決まりました>

12月5日 開会(本会議)

9~13日 一般質問

17日~委員会(主旨説明)

20 H 予算決算委員会

(締め括り総括質疑)

24 FI 最終日(本会議) ★請願締切 12月5日午後5時

陳情は、12月10日くらいまでに。

なすまどか議員が一般質問

12月9日(月)午後2時~ 議会棟5階本会議場

*どなたでも傍聴できます。 取り上げてほしい問題があれば、ご 意見お寄せください。

買からも 「ご理解をするのは市長の方ではないで

新市街場外車券売場開設は、「ギャンブルの街」を加速!

有限会社偕行企画熊本が場外車券売場「サ テライト熊本新市街」の開設準備を進め、12 月半ばにもオープンの予定です。



上:通行人の少ないサンロード 左:工事中のサテライト熊本新市街

場外車券売場で商店街活性化?

NPO法人クレ・サラ被害をなくす会や春竹校区自治会連合会長・本荘校区自治協議会会長等からの反対を押し切り、熊本市は「中心市街地活性化に寄与する。競輪ファンを増やす」等を理由に、「設置に同意」し、経済産業局が設置を許可しました。

市議会には、中心商店街の会長連名で「場外車券売場の早期開設」を求める陳情が出され、地元商店主からは、「背に腹は代えられない」と賛成する話もありました。果たしてそうでしょうか。今でもパチンコ店が乱立し、広いアーケード内は、人通りもまばらです。「場外車券売場」の営業(朝10時~夜9時)により、新市街はますます「ギャンブルの街」化が進み、とりわけ子どもや女性客は遠のくのではないでしょうか。

行き当たりバッタリのまちづくり

市議会では、他の会派からも、「うるおいと賑わいを標榜する『花畑広場』から場外車券売場は、目と鼻の先であり、政策的な整合性がない」「中心商店街は物販を中心にするべきではないか」などの意見も出されていました。場外車券売場を容認し、一方では、うるおいを標榜する「花畑広場」構想は、整合性のない、行き当たりバッタリのまちづくりではないでしょうか。

産業文化会館再開で 文化と賑わいの街の復活を!

熊本市は、年間約30万人の利用者があった産業文化会館を市民や商店街にも相談なく、民間の「再開発ビル計画」に乗り、4年前に早々と閉鎖しました。その影響もあり、周辺の通行量は、大きく減少しています。

その上、20 億円ものお金をかけて、産業 文化会館を壊し、多額の補償金を出し、民間 マンション用地を15 億円で買収し、「花畑広 場」建設をゴリ押ししようとしています。

新市街・花畑地区の賑わいを取り戻すためには、商店街も一緒になって、文化とうるおいの場である産業文化会館を再開させることこそが早道ではないでしょうか。

小学生も商店も五福校区あげての 第22回風流街浪漫フェスタ

11月10日、五福小・五福まちづくり交流センター前では、第22回風流街浪漫フェスタが開催されました。メイン会場は、地元の幼稚園、小学校、中学校の踊りや合唱、器楽演奏など盛り沢山。物販も、交流のあるあさぎり町の特産品や地域の商店からは花、バナナ、かつぶし、こんにゃく、おにぎり、カレー、寿司、おでん、洋服、履物などの販売。だご汁などのバザーもあり、おいしく・お得な買い物でにぎわいました。



のびやかに踊る五福幼稚園児

五福小児童の手作りおみこし 「ワッショイ!ワッショイ!」



地元五福幼稚園の存続署名活動も!

会場では、五福幼稚園保護者の皆さんが五福幼稚園・古町幼稚園の存続を求める署名活動。

保護者の呼びかけ文からは、「少人数なので、他の学年の子どもと仲良く助け合って思いやりの心が身につきます」「少人数だからこそ、全園児の名前が一致し、わが子と同じように関わることができます」「保護者同士も園で毎日顔を合わせることができ、またご近所なので、お家を行き来して、子育ての悩みや子どもの日々の成長を共感することができます」など幼稚園存続への熱い思いが伝わってきました。